



広報 みまた

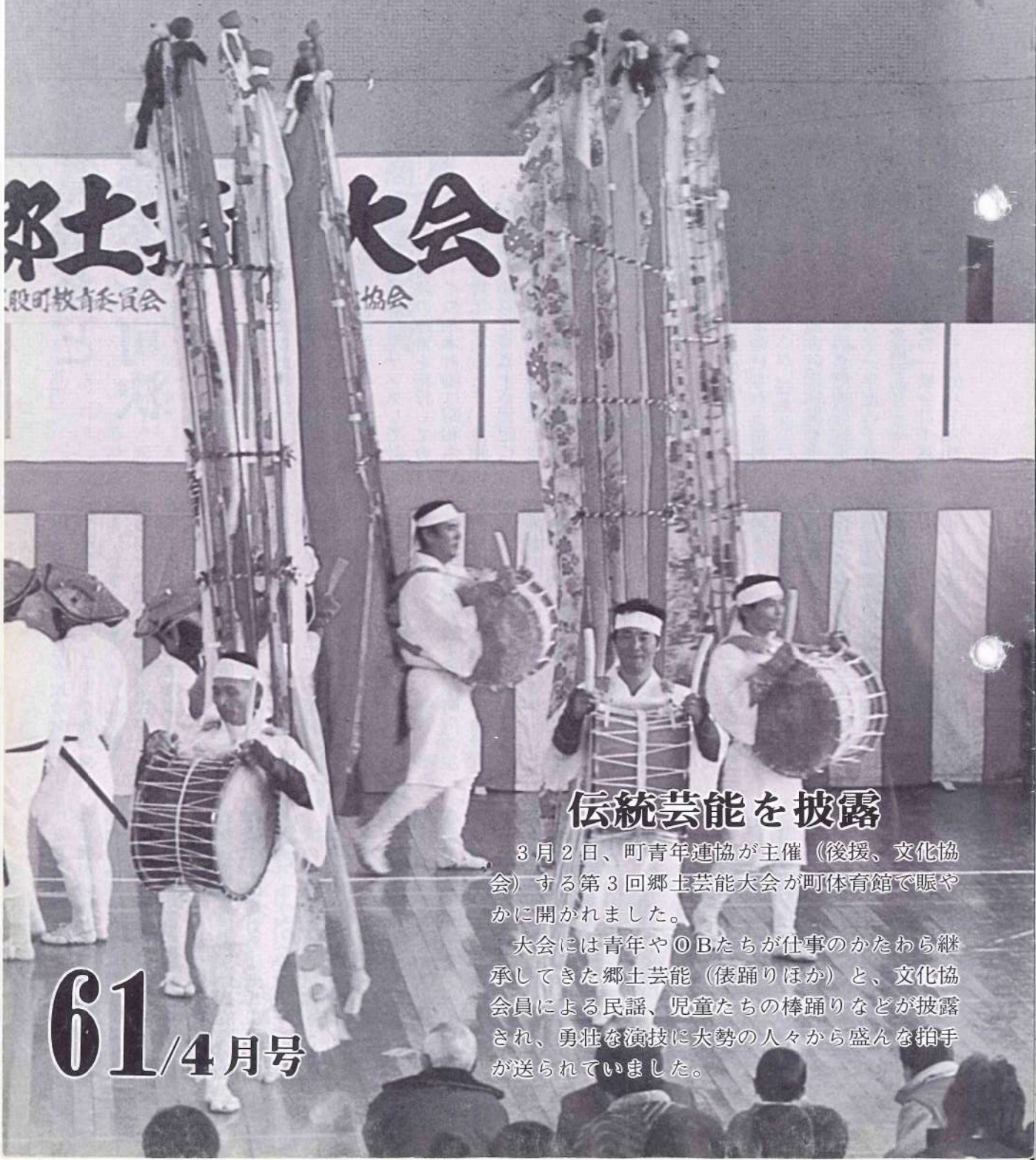
発行・編集 北諸県郡三股町職員課 ☎52-1111 発行4月21日 No200

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめよう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てよう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめよう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりよう。
- 1 力をあわせれば強く住みよい町を築きよう。

三股町の花 サツキ:鳥 ホオジロ:木 イチョウ



伝統芸能を披露

3月2日、町青年連協が主催（後援、文化協会）する第3回郷土芸能大会が町体育館で賑やかに開かれました。

大会には青年やOBたちが仕事のかたわら継承してきた郷土芸能（俵踊りほか）と、文化協会会員による民謡、児童たちの棒踊りなどが披露され、勇壮な演技に大勢の人々から盛んな拍手が送られていました。

61/4月号

新年度予算案など 十八議案を可決

3月定例会

昭和六十一年第二回町議会定例会は、三月十日から二十日までの十一日間にわたって開かれ、昭和六十一年度一般会計予算案をはじめ、特別会計予算案、使用料及び手数料徴収条例改正案など十八議案を提案し、原案どおり可決しました。この議会で町長は、昭和六十一年度にも臨む町政の方向と所信を明らかにしました。

本町は、昭和五十六年度に町総合計画を策定し、その基本構想の目標とする「より明るく、より美しく、より豊かな住みよい町」の創造を指向し、その実現を目指して、各分野における現況と課題を

捉え、更に毎年ローリングして計画的な行政の運営を施行しておりますが、この基本計画は昭和六十年度が最終年度にあたり、計画の内容を再検討して二十一世紀に向けて、本町の将来への施策と住みよいふるさと作りを意を用い策定に努めるものであります。

ところで、国ならびに地方財政計画などの財政状況から考えると、自主財源に乏しい地方公共団体における地方財政は、前年度に比して更に財政が緊迫して依然として、厳しい財政運営が強いられる情勢下にあります。

私は、厳しい地方財政状況を十二分に踏まえ、町総合計画の施策をにらみながら六十一年度の予算編成に取り組んだ次第であります。昭和六十一年度の一般会計予算の規模は、総額二十九億八千六百



施政方針を述べる町長

万円となり、対前年度比十七・六パーセント増となっております。これを第二相義務教育施設整備事業に要する経費の計上によるもので、多少の圧縮をせざるを得ない予算編成となつて、この点、本町の行政財政運営は容易ならざるものがあり、その対応に創意と工夫が要請されることとあります。

一、快適な生活環境の整備

生活環境の基盤をなす町内の主要道路の整備や公営住宅の建設、都市計画事業などを積極的に取り組みます。

◎町道整備事業では、臨時地方道整備事業で改良舗装などを行い、また、補助事業としては勝岡藪池線、高才餅原市場線の改良事業を進め、更に、維持補修、地区要望事項等も可能な限り積極的に要します。(事業費一億七千五百八十万円)

◎公営住宅整備事業では、長田地区過疎対策の一環として、唐橋平屋建十戸の建設をはじめ、唐橋第二団地の用地取得事業、既設の住宅維持管理事業、危険住宅移転補助事業などを積極的に取り組みます。(事業費一億二千九百万円)

ところで町民の行政需要は、年々多種多岐にわたたり、かつ増嵩の傾向にあり、これらのすべての要望を充たす事は、財政的にも到底むづかしく、そこでこれに対応するは全町民の自立自助の理解を求めるながら、公正かつ効率的な行政の執行に全精力を傾倒して行く決意であります。(要点のみ)

次の五項目の重点目標を主軸として積極的に事業をすすめます。

◎都市計画事業では、街路事業の新馬場榎線や植木都市下水路、南原下水路事業などを行います。更に、花見原児童公園、土地地区画整理事業などを進めていきます。(事業費一億二千五百万円)



四、教育文化の向上と スポーツの振興

本町は古くから文教の町として広くその名をなしておりますが、最近とみに教育問題は大きく提起されており、町民の正しい理解と協力を頂きながら、今後一層の教育振興を図ります。

◎学校教育では、人間性豊かな児童生徒の育成を目指した教育の充実と振興を図っていきます。三股中学校は六十二年以降、毎年学年級数が増える事から、校舎の増築を推進して生徒の学力向上と情操教育を図っていきます。

一方、過大規模校である三股小は学校教育上深刻な問題であります。これを解消するために、本年度、分離新校の用地取得事業を進めて、昭和六十四年度開校を目標とする最善の努力をしていきます。

(事業費七億九千二百万円)

◎社会教育では、町民憲章の精神を根底として、公民館活動の推進と社会教育体制の強化、各種社会教育関係団体の育成強化に努めます。また、幼児教育から高齢者教育に至る幅広い生涯教育学習の機会と内容充実を図りたい。更に、町民の文化意識の高揚と文化活動文化財の保存に努力します。

(事業費四千三百七十万円)

◎スポーツ振興では、健康文化都市宣言の町にふさわしいスポーツの奨励振興に努め、施設の整備充実を図ると共に、有効活用を推進して行きます。更に、中年層層を対象としたスポーツ振興を一層推進し、健康で明るい郷土づくりを図ります。(事業費一千万円)

五、公正明朗な行政と サービスの向上

町民の行政に対する需要は、年を追う毎に増嵩し多種多様化の様相を呈しております。そこで私をはじめ全職員は一体となって、資質の向上に努めると共に、行政全般にわたり広く町民の声を反映して、公正明朗な行政のサービスに努力していきます。

二、町民の暮らしを守る 暖かい福祉を目指して

生き甲斐ある福祉の増進を図りながら、町民がより良く生きるための環境づくりを福祉政策の基本姿勢として、積極的な福祉事業を行います。

◎社会福祉関係では、重度心身障害者医療費をはじめ、民生委員活動助成金、老人家庭奉仕員委託料、敬老年金、老人保健事業への繰出し、国民年金事業などを行います。(事業費一億七千七百万円)

◎児童福祉関係では、児童手当をはじめ保育所措置などを推進します。更に、児童を健やかに育成するための児童館整備や福祉団体育

三、農畜産業の振興と 商工業の振興

農畜産業は、本町の基幹産業をなすものであります。生産基盤の整備等、諸施策を講じ、足腰の強い農畜産業を行います。

◎農畜産業では、農林、畜産が一体となった地域の総合的な整備を進め、更に、環境衛生基盤の整備ならびに集落環境整備、土地改良総合整備事業、団体営農道整備事業などを積極的に進めます。また、本町の多年の金庫でありました餅原山新地区を結ぶ新規採択路線の調

査設計、地籍調査、畜産総合対策事業、農用地適正化斡旋事業などを行います。(事業費三億六千万円)

◎商工業の振興では、商工会を中心として、経営診断等の指導の強化、経営改善、更には特色ある商店街づくりによる購買力の町内指向、消費拡大対策に努めます。また、中小企業者の預託金制度の充実にも努め、経営の安定化、商業の振興と活性化を図ります。

(事業費五千三百七十万円)

可決された主な議案

○土地開発基金条例の一部改正

これは公用若しくは、公共用
地の先行取得の運営資金として
活用している基金の額、「二億
二千五百万円」を「五千五百万
円」に改めたものである。

○使用料及び手数料徴収条例の
一部改正

三股中学校屋内体育館の完成
に伴い、生徒の体育授業だけで
なく広く住民にも活用して頂く
ため、その施設と武道体育館の
会議室について、使用料を改正
したものである。

○敬老年金支給条例の一部改正

年金支給対象者(八十歳以上)
の、各階層年齢を引き下げたも
のです。
八十歳以上八十八歳未満の者 年額五万円
八十八歳以上九十九歳未満の者 年額三万円
九十九歳以上の者 年額十万円

○多目的集会所の設置及び管理
に関する条例

農村地域定住促進対策事業と
して、田上地域に集会所が建
設されました。その施設の名
称を多目的集会所田上集落セン



3月定例議会

この三月議会で可決された議案
の一部をお知らせいたします。

一、三股町使用料及び手数料徴収
条例の一部を改正する条例
体育館等の使用料が、次のよ
うに改正されました。(表一
のとおり)

二、三股町道路占用料徴収条例
この条例は道路を一時、又は
長期間占用する場合に、次の
とおり定められました。(表一
(表一のとおり)

道路占用料(表2) (単位:円)

Table with 4 columns: 占用種目, 単位, 占用料 (年額, 月額), 摘要. Rows include 電柱, 橋柱, 看板, 広告塔, 地下埋設物, 有線音楽放送施設, 材料置場, その他.

●本表に記載のないものは類以の種目に
よる。
この占用料は4月1日から実施されます。

体育館等の使用料(表1) (単位:円)

Table with 3 columns: 区分, 単位, 料金額. Rows include 入場料を徴収 (小・中・高), 入場料を徴収 (小・中・高), する場合.

●翌月の体育館貸出しは毎月第4火曜日、午前8時30分から中央公民館で行ないます。
詳細については保健体育課まで。電話②-1111(内線18番)
この使用料は4月1日から実施されます。

財政用語ミニ辞典
●自主財源とは……
法令や町条例、規則等により、市町村
が自ら徴収するもので、地方税、負担
金、分担金、使用料、手数料、財産取
入収入及び繰入金等があります。この財
源は行政活動の安定性を測る一つのバロ
メーターとみなされています。
●依存財源とは……
収入の源泉を国や県に依存し、かつ、
その額と内容とが国、県の定める基準な
いし、意思決定に基づいて交付されるも
ので地方交付税、国、県支出金、地方債
及び各種交付金などがあります。

昭和58年度各会計別予算状況 (単位:千円)

Table with 5 columns: 会計名, 本年度当初予算額 A, 前年度当初予算額 B, 比較 A-B, 比較 A-B. Rows include 一般会計, 国民健康保険会計, 老人保健特別会計, 新馬場土地区画整理事業会計, 計.

○町道路線の認定及び変更について
昭和六十年度において各種道
路整備事業によって、施行完了
した路線、ならびに花見原区画
整理事業の完了に伴って、区域
内の路線を町道に認定及び変更
する議決を求めました。
○乳幼児医療費助成に関する条例
の一部改正
この条例は、乳幼児医療費助
成の保険給付の中に特定療養費
が加えられました。また、児童
手当法の改正に伴い、助成対象
の範囲が改正されました。
お問い合わせは福祉生活課まで

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 昭和61年4月1日現在の住民基本台帳人口, 世帯数, 町民税, 町民税.

税金は明るく住みよい町づくりのために使われます。848,664千円(10.0%)
小・中学校、社会教育、体育施設など整備のために
197,673千円(23.3%)
町債(借入金)の元利償還金の支払いに
139,670千円(16.5%)
農畜産、商工業など産業振興のために
103,033千円(12.1%)
道路、公園、下水路、住宅などの整備に
97,985千円(11.5%)
各種の福祉対策と住みよくなるのために
72,704千円(8.6%)
各種保健予防、環境衛生などのために
72,108千円(8.5%)
火災や災害から財産や生命を守るために
23,153千円(2.7%)
その他の仕事、議会総務などのために
142,338千円(16.8%)

税金の使いみち
町税の予算状況 (単位:千円)
Table with 4 columns: 税目, 本年度当初予算額, 前年度当初予算額, 比較. Rows include 町民税, 固定資産税, 軽自動車税, たばこ消費税, 電気税, ガス税, 木材引取税, 特別土地保有税, 入湯税, 都市計画税, 計.

皆さんは税金について、どのよ
うな関心をお持ちですか。多くの
人が自分の負担する税金の使われ
方、仕組みなどに関心を持ってい
ます。しかし、税金がどのように
使われているかは意外と分りにく
いものです。私たちの身近なこ
ろで使われている税金を見てみる

と、産業経済、公共福祉、教育文
化、生活環境などの整備に役立
てられています。
このように税金は、私たちの生
活をより豊かに暮らさやすくす
るために使われています。税の仕組
みや使いみちを正しく理解し、税
の大切さを考えてみましょう。

税だより

税金は、私たちの暮らしを豊かにするために、国や地方団体が必要とする大切な財源です。と言っても、どのように私たちの生活にかかわっているかは、なかなか分かりにくいものです。今回は町税の種類と使われかたについて述べてみましょう。

(一)、町税の種類について

町税には普通税と目的税に分けられています。
 ①、普通税
 (町民税)：個人と法人に分けられます。
 個人：町内に居住する人に対して均等割額及び所得割額の合算額で課税されます。
 法人：町内に事務所、又は事業所を有する法人に課税されます。
 (固定資産税)：土地、家屋及び償却資産に対して、その評価額に課税される、一種の財産税であります。

(軽自動車税)：原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車及び二輪の小型自動車に対して、その所有者に課税されます。
 (たばこ消費税)：たばこの消費に対して課される消費税であり、課税は専売公社が、たばこ小売店に売り渡す製造たばこに、その数量を基礎として専売公社に課税されます。
 (電気税)：電気料金を課税標準として、その使用者を納税者とする税であります。
 (ガス税)：ガス料金を課税標準として、その使用者を納税者とする税であります。
 (木材引取税)：素材の引取価格を課税標準として、立木の伐採後の最初の引取者に課税されます。
 (特別土地保有税)：土地の取得者(五、〇〇〇㎡以上)に対して、当該土地の所有者に課税されます。
 ②、目的税
 (入湯税)：鉱泉浴場における入湯に対して、入湯額に課税されます。
 (都市計画税)：都市計画法に基づく市街化区域内に所在する、土地及び家屋に対し、その価格を課税標準として、所有者に課税されます。
 以上のような税目に分けられています。一方、国税としては、酒税や物品税などのように、消費者が物を買う際に、すでにその価格の一部として、納めているものもあります。
 いずれにしても、私たちは常に税金とかわりあいを持っています。

町税の予算状況

(単位：千円)

税目	本年度当初予算額	前年度当初予算額	伸率(%)
町民税	257,807	276,002	△6.6
固定資産税	285,968	266,594	7.2
軽自動車税	15,801	15,151	4.3
たばこ消費税	59,640	57,833	3.1
電気税	34,450	35,893	△4.0
木材引取税	1,141	1,141	0.0
特別土地保有税	3,401	3,126	8.8
都市計画税	26,355	23,360	12.8
ガス税	1	1	0.0
入湯税	1	1	0.0
合計	684,565	679,102	0.8

昭和58年4月1日現在の住民基本台帳人口 18,335人
 世帯 5,652世帯
 町民税 町民1人当たり 14,061円
 1世帯当たり 45,613円

町民の皆さんから負担していただく税金はこのように使われます。(税金1,000円の使われかた)

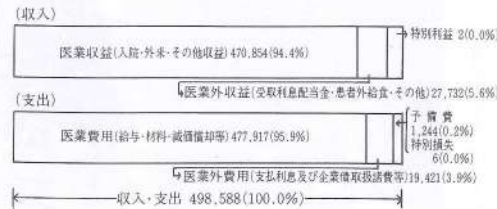


つまり、税制や税負担の多少は消費や投資など、地域経済の動きになんらかの影響を与えています。税金は、国や地方公共団体の財政活動に大きな役割を果たしています。そこで、三股町の昭和五十八年度の一般会計予算で税金、〇〇〇円がどのように使われるかを見てみましょう。

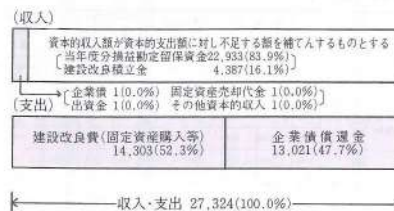
このように私たちが納める税金は、産業経済、公共福祉、教育文化、生活環境などの整備に使われます。私たちが、より多くの公共サービス、豊かな社会生活を望むとき、税金は私たちが負担しなければならぬ、基本的な義務であり、また、社会共通の経費と言えらるでしょう。

昭和58年度三股町国民健康保険病院事業会計予算状況

①収益的収入及び支出予算 (単位：千円)



②資本的収入及び支出予算 (単位：千円)

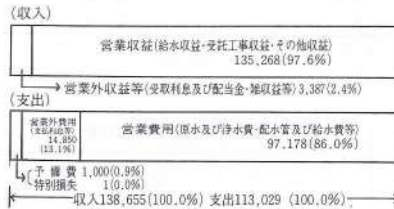


●業務状況

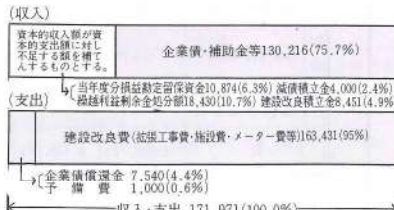
町立病院は住民の健康保持に努め、公共の福祉を増進するように運営されております。
 (1)病床数
 一般病床 40床
 結核病床 20床
 (2)年間入院患者数 27,450人
 1日平均患者数 75人
 (3)年間外来患者数 53,640人
 1日平均患者数 180人
 (4)主要な建設改良事業
 (イ)器械及び備品購入費 14,302千円
 病院改築事業費 1千円

昭和58年度三股町水道事業会計予算状況

①収益的収入及び支出予算 (単位：千円)



②資本的収入及び支出予算 (単位：千円)



●業務状況

町水道事業は生活用水その他の浄水を住民に供給し、公共の福祉を増進するように運営されております。
 (1)給水戸数 5,670戸
 (2)年間総給水量 1,842,000m³
 (3)1日平均給水量 5,047m³
 (4)主要な建設改良事業
 (イ)拡張工事費 150,000千円
 (ロ)給水区域内配水管布設 12,401千円

昭和五十七年度事業 各種施設が完成

本町が昨年度に建設を進めてきました、生活環境施設整備事業などの施設が次々に完成しました。

長田小学校が新校舎



昨年八月から工事を進めてきました長田小学校の新校舎は、二月十五日完成しました。新校舎は総工費一億九千二十四万五千円が投じられ、鉄筋二階建て（面積一八二三㎡）の近代的な校舎で、普通教室をはじめ理科室、音楽室、図工室、家庭科室、図書室のほか十教室が整い、初等教育の場として知育や学力が培われるものと、大きな期待が寄せられています。

唐橋公営住宅

昨年八月から工事を進めてきました唐橋第二住宅が、三月十五日完成しました。

この住宅は、総工費一億三千万円をかけて中層耐火構造鉄筋コンクリート四階建（面積一、一三三・八平方メートル）、二種住宅十六戸で、共同物置や自転車置場、それに団地内の舗装や植栽、遊具施設などが整備されました。明るい家庭生活が営まれるものと期待されています。



植木都市下水路も完成

昨年十月から工事を進めてきました植木都市下水路も、二月二十八日立派に完成しました。

当地区は降雨毎に宅地への浸水、耕地の流出などが激しいため、その耐水処理（雨水排水）施設として、水路延長三百五メートルをコンクリート三面水路式、一部道路暗渠などを事業費四千万円で整備したものです。この施設の完成により地域の環境整備、公衆衛生の向上が図られるものと期待されています。



轟木・大野集落センター

長田地区では、昭和五十五年度から地区再編農業構造改善事業（区画整理、農道整備、集落環境施設整備事業など）が年次的に進められており、この事業の一環として轟木、大野地域の集落センターがこの程立派に完成しました。



轟木集落センター



農村地域定住促進対策事業として、昨年九月から工事を進めてきました、多目的集施設田上集落センターが一月三十一日完成しました。この建物は、木造平屋建（面積一五八・九平方メートル）で、大・小の会議室、調理実習室などが備えられ、総工費一千二百三十万円で建設されています。施設は農業経営に必要な知識や技術を習得したり、生活改善の場として大いに活用されることでしょう。

田上集落センターが完成

この建物は、木造平屋建（面積一五八・九平方メートル）で、大・小の会議室、調理実習室などが備えられ、総工費一千二百三十万円で建設されています。施設は農業経営に必要な知識や技術を習得したり、生活改善の場として大いに活用されることでしょう。



千円をかけ、一方、大野集落センターは、旧大野集落跡地に、総工費一千九百八十八万八千円をかけて建設されたもので、両センターとも大・小の会議室と農産物加工研修室などが設置されており、地区民の憩いの場、農業経営および生活改善の場として大いに活用されることでしょう。



大野集落センター



暖地営農むらづくり事業 五ヶ年で三十七ヶ所を整備

暖地営農むらづくり事業は、昭和五十六年度から第三次農業振興長期計画に基づいて、本県の重要農政施策として発足しました。

この事業は、集落段階における営農と生活にわたる自主的な活動体制を促進すると共に、生産、生活の幅広い条件整備を行い「地域農業の振興と活力ある農村の創造をめざす」ものであります。

本町においては、昭和五十六年度から五ヶ年計画で事業を施行し三十七ヶ所を整備いたしました。いずれも地域の特性を生かした色々な活動により、今後の成果に大きな期待が掛けられています。一方、この事業は昭和六十一年度からは、暖地営農むらづくり総合対策事業として、新しく五ヶ年計画が始まります。

町の話題



充実した公民館活動を展開しよう

町公民館連協(会長・森保正)では、「地域の連帯を強め、明るく豊かな住みよい地域づくりをめざそう」と、公民館大会を三月二日中央公民館で開催しました。公民館の重要性を認識すると共



に、多様化している住民のニーズに応えるため、充実した公民館活動をしようとしたものです。

大会には、各地区から約百人が参加。開会行事では町民憲章朗読のあと、教育団体功労者の表彰並びに、花いっぱいコンクールの表彰が行われました。

その後、「公民館組織の強化と活動の充実」をテーマに、綾町自治公民館連協長、田所三郎氏の講演が約一時間半にわたり行われました。

田所先生は、地域を住みよく豊かにするため、高齢者から幼児まで地域活動に一役を演ずるようなあらゆる方策の創出が必要と、講演され身近な話だけに参加者はメモを取るなど熱心に聞き入っていました。

表彰者は次のとおり(敬称略)

- 公民館功労者
 - 第二地区公民館 石坂 綱雄
 - 第五地区公民館 小牧 光盛
 - 第八地区公民館 丸田 義男
- 社会教育功労者
 - 第一地区公民館 清水 守
- 社会教育関係団体
 - 第二地区公民館 中米満老人クラブ
 - 第六地区公民館 夢池青壮年部
- 花いっぱいコンクール表彰団体
 - 最優秀賞 前目花の会

収入役に宮里至氏を再任



三月五日で任期満了となる宮里至収入役(六四歳)は、三月三日の臨時議会で再び収入役選任の議案が提出され、全会一致で同意可決されました。

宮里氏は、昭和二十二年十一月役場に奉職以来、税務課長、町長公室長、総務課長を経て町民室長を最後に昭和五十三年退職され、その後、同五十三年三月に収入役に選任されました。

ご活躍をお祈りいたします。

県スポーツ賞に7人が輝く

本県のスポーツ水準向上に貢献された方々を称える、スポーツ賞の表彰式が、さきほど町中央公民館で行われました。この賞は、昨年の鳥取県体をはじめ、各種競技の全国大会等で活躍された優秀選手やその指導者に贈られるものです。

本町からは次の七人が昨年の受賞に輝きました。(敬称略)

- 松吉秀隆(ラグビー) 第十回全九州実業団ラグビー大会に県教員団チームとして出場し、優勝への原動力となった。
- 金丸正紀(バレーボール) 高城中(前任校)で、女子バレー部を全九州中学選抜バレー大会で、初優勝に導かれた。
- 新地 学(陸上) 第三十四回九州一周駅伝競走大会の本県代表選手として出場し、実力を発揮して、四連勝への原動力となった。
- 上原あぐり(弓道) 全国中学校通信弓道大会で二位入賞に輝き、更に九州中学校弓道競技大会個人



二位 藤 浩二	安田 輪傳	原田 崇	山下 成光
一位 又本 一郎	又本 大盛	吉野 孝子	土屋 今村
一位 内田 圭治	森 黒岩	山元 亮	山元 原田
一位 シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス

町のパドミントン競技の普及と愛好者の親睦を深めようと、二月九日第四回パドミントン大会が、三股小学校体育館で行われました。大会は男女それぞれ、シングルス、ダブルスにトーナメント戦で約五十名が参加し、熱戦をくりひろげました。(敬称略)成績は次のとおりでした。

町パドミントン大会開催



優秀賞 二原老人クラブ 特別努力賞 山王原壮年金曜会



練習の成果を発表 小中学校音楽会

町教育研究会が主催する第三回小中学校合同音楽会が、さきほど三股小体育館で開催されました。児童・生徒が日ごろ練習している(冬がくる前)になど二十五曲、合唱や合奏、吹奏楽などに、館内は盛大な拍手につつまれていました。



年金制度への理解を研修会

公的年金制度が四月から変わるのに伴い、町福祉生活課と都城社会保険事務所では、新国民年金法改正点についての説明会を三月一日から二十三日まで、各地区毎に開きました。

説明会は、基礎年金制度の導入や婦人年金権の確立、給付水準と保険料負担の適正化、障害年金の充実など、改正点について詳細に説明が行われました。どの地区でも保険料や加入期間などについて多くの質問が出されました。尚、今月から定額保険料が七千円に改定されます。納期内に納入されますようご協力ください。

良質の飼料作物を栽培しようと研修会

町農畜産課では、さきほど和牛の資質向上を図るため、飼料作物の草種と特性を知り良質な飼料栽培をしようとして、サイレージ共助会を畜産センターで行いました。共助会には、和牛生産者約八十人が日ごろ和牛に与えているサイレージを約一kg持参。それぞれのサイレージを臭い、味、色、水分、触感、酸度などに分析し、今後の飼料作物の栽培(堆きゆう肥の施用)、適期収穫などで養分収量や効率のよい飼料づくりで、生産費の軽減を図り、良質和牛の生産をめざそうと研修しました。



おしらせ



道路は広く美しく

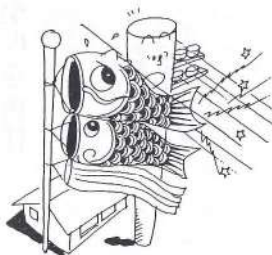
利用しましょう

道路は昔から人や物の往来とともに、さまざまな情報や文化を運び続け、社会生活を支える基盤として重要な役割を果たしています。

最近、農作業での取草や草飼料などを道路に持ち出され放置しているのを見かけます。交通に支障を来すばかりでなく、側溝に落ち込み流れを悪くする原因にもなっています。

道路は広く、美しく、利用しましょう。

今月の納税 軽自動車税 固定資産税



鯉のぼりが 電線にふれないよう ご注意下さい。

●万一、鯉のぼりが電線・電柱に引っかった場合は、危険ですから自分で取らずに、都城営業所へご連絡下さい。

TEL 3911

一般住宅用地 33区画を分譲

●一区画面積
二百㎡(六十坪)〜三
五〇㎡(一〇六坪)ま
で

●価格

一㎡当り二〇、四〇〇
円〜三三、一〇〇円
一坪当り六七、三三〇
円〜七六、一三〇円

●分譲区画数 三十三区画

●土地の価格は、昭和六十一年四月一日から同六月三十日まで契約して代金支払を完了した場合の価格です。

町土地開発公社が進めておりました、「花見原土地区画整理事業」が、さきほど完成しました。

同公社では、この区画整理内の一般住宅用地三十三区画を次のとおり分譲しております。



尚、登記手続きもすぐできます。※詳細については町土地開発公社にお問い合わせください。

☎ 3911 (内線八九七九番)

愛の「寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通りいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきま。誠にありがとうございました。

昭和六十一年十月十六日から

昭和六十一年三月三十一日まで

寄付者 続柄 故人名 地区 金額

向田 堤 妻	エミ	山王原	二万円
松崎 ミカ 夫	行	夢池	二万円
森 宗夫 父	元一	夢池	十万円
大野 幸一 母	サチ子	仲町	一万円
園田 茂 妻	ミツル	榎山	三万円
橋口 征男 母	カオル	前目	一万円
小林 徳明 父	直則	餅原	三万円
右山 スミエ 夫	和雄	植木	一万円
瀬戸山 邦一 母	ミカ	山王原	三万円
安楽 邦秋 妻	セツ子	夢池	一万円
桑畑 ワサ 夫	数雄	下新	二万円
高妻 静雄 子	美幸	飯屋	二万円
片平 フミエ 夫	義孝	今市	三万円

三股町の人口

昭和61年4月1日現在

人口 18,826人 出生 18人
男 8,920人 死亡 11人
女 9,906人 転入 137人
転出 245人

世帯数 5,937戸
前月比 (人口) -101人